

高等学校商業科採点基準

3枚のうち1

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号	正 答 (例)	採 点 上 の 注 意	配 点	
①	1	ネットワークと預金口座を通じて貨幣価値をやり取りする電子決済であり、銀行のキャッシュカードを利用して即時決済を可能にした仕組み。クレジットカードは代金後払い方式であるのに対して、デビットカードは代金引き替え払い方式であり、銀行口座残高以上の支払いはできない。	内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	5
	2	農業や水産業などの第一次産業に携わる者が、第二次産業と第三次産業までを手がける取組。	内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	5
	3	現地化ともいい、海外で企業活動をする際に、現地の文化や習慣に適切に対応するという考え方。	内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	5
	4	登録顧客から会費を受け取り、顧客の好みや興味に関する情報により定期的に推奨商品を届けるネットショッピングサービス。	内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	5
	5	eコマースの発展・拡大により、消費者が、実店舗で店員から商品の説明等を受けつつ、そこでは当該商品を購入せず、より価格の安いオンライン販売で当該商品を購入するという購買行動。	内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	5
	6	(1) 3,726,810 [円] (2) 3,184,846 [円] (3) 1,814,059 [円]		5
②	1	<ul style="list-style-type: none"> 他者との討論により課題の解決策の考案などを行う学習活動。 他者の考えに耳を傾け、対立する意見であってもそれを踏まえながら自己の考えを整理し伝える学習活動。 地域を学びのフィールドとして、様々な職業や年代の地域住民などつながりをもちながら信頼関係を構築し、協働して課題の解決などに取り組む学習活動。 職業資格の取得やコンクールへの挑戦などを通して、自ら学ぶ意欲を高める学習活動。 	2つ書かれていればよい。 内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	各5×2
	2	<p>表計算ソフトウェアや文書作成ソフトウェアなど各種ソフトウェアの操作方法を習得することにとどまらず、伝えたい内容を適切に表現する表の形態、グラフの種類・形態、文章の表現、話の構成などの工夫について考察や討論を行う学習活動。</p> <p>企業においてビジネスに関する情報を収集・処理・分析して表現し、活用する具体的な場面を想定した実習を取り入れる学習活動。</p>	内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	各5×2
③	1	ウ		5
	2	集団でアイデアを出し合うことによって、相互交錯の連鎖反応や発想の誘発を期待する技法。	内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	10

高等学校商業科採点基準

3枚のうち2

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号	正 答 (例)	採 点 上 の 注 意	配 点	
4	1 包括的問題解決行動は、たまにしか購入しない高価格の商品等で、外部情報探索が広範囲であり、綿密な商品評価がなされる。限られた店舗で販売される商品等であり、販売員活動・販売促進が重要となる。値引きの効果は小さい。	内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	各 5 × 2	30
	2 習慣的問題解決行動は、頻繁に購入する低価格の商品等で、外部情報探索はあまり行われない。大ざっぱな商品評価がなされがちである。広範囲な店舗で販売される商品等であり、販売員活動・販売促進は不要である。値引きの効果は大きい。			
5	1 (エ)	内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	10	20
	2 オ		10	
6	1 (1) 90,000 [円] (2) 200,000 [円]	内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	5	40
			2 (1) 4,800,000 [円] (2) 9,000,000 [円] (3) 1,680,000 [円] (4) 1,120,000 [円]	
	5			
	5			
	5			
	3 (1) 154,000,000 [円] (2) (+) 1,000,000 [円]		5	
5				
7	1 ウ	内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	5	10
	2 エ		5	

高等学校商業科採点基準

3枚のうち3

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号	正 答 (例)		採 点 上 の 注 意	配 点	
8	学習活動	指導上の留意事項		25	
	第1時間目	<ul style="list-style-type: none"> 財務諸表分析を行う目的を理解する。 グループングを行い、財務諸表分析を行う対象企業について検討する。 インターネットを活用し、金融庁のEDINETから、対象企業の財務諸表データの検索、入手する。 			<ul style="list-style-type: none"> 学習の見通しを持たせるよう留意する。 グループの中の自己の役割を明確化するよう指示する。 地域産業に関心をもたせるため、対象企業の例などの資料を提示する。 EDINETを開いて、有価証券報告書を検索するよう指示する。
	第2時間目	<ul style="list-style-type: none"> 財務諸表分析に使用する財務指標をグループ内で検討し、財務諸表分析の方向性を協議し、調べる項目について役割分担を決める。 			<ul style="list-style-type: none"> 同一企業における期間比較や同業他社との比較を行わせることを通して、収益性や安全性などの面から対象企業の実態を分析させる。
	第3時間目	<ul style="list-style-type: none"> 財務諸表分析を行い、対象企業の問題点と改善策を考察し、対象企業が抱える問題点について話し合い、提案する改善策を整理する。 各グループで発表の役割分担を決め、リハーサルを行う。 			<ul style="list-style-type: none"> 対象企業に改善策等を提案することを意識させ、財務比率などの財務指標の計算だけで終わらず、数値が悪化している原因などについて、深く考察させる。 聞きやすい発声や話す態度、聞き手を引き付ける表情や姿勢、提案の趣旨を正確、簡潔に伝える話の構成でなければならないことに留意させる。
	第4時間目	<ul style="list-style-type: none"> 各グループの発表を行い、他のグループの評価を行う。 			<ul style="list-style-type: none"> 評価シートを使用して適切に評価が行われるように、評価する視点、基準について説明する。
第5時間目	<ul style="list-style-type: none"> 各グループで評価を振り返るとともに、各自で振り返りを行う。 習得した財務諸表分析に関する知識を基に、今回設定した企業と異なる他業種の企業について、財務諸表分析を行うなどの新たな学習課題を設定する。 	<ul style="list-style-type: none"> 他のグループからの意見を踏まえ、経営上の改善策の見直しを行うよう促す。 この単元の学習を通して、何ができるようになったかを自覚させるとともに、業種によって財務比率の傾向が異なることを説明する。 			

問いを正しくとらえていれば、内容は異なっていてよい。